

西合志東小学校便り



校訓【元気いっぱい 温もりのある 誇れる 西合志東小】第4号
令和7年5月29日 文責：立山 亮仁

最高の運動会！ 感動と笑顔で溢れる一日！

今年の運動会は「全力で、最後まであきらめずに笑顔あふれる最高の運動会」をテーマに掲げ、子どもたちは日々の練習に励みました。その努力の結晶が当日、素晴らしい形で発揮されました。

雨天順延にも関わらず、地域や保護者の皆様の温かいご協力により、会場には一体感が生まれました。欠席した友の分まで懸命に頑張る子どもたちの姿に、応援する皆さんも心を動かされたことでしょう。



特に、最後のプログラムである5、6年生の表現では、感動の涙を流す方が続出し、大きな拍手が鳴り止みませんでした。この運動会は、努力と支え合いの大切さを実感できる、大成功の一 日となりました。



保護者や地域の皆様の励ましの声は、きっと子どもたちの心に届いています。たくさんの応援、ありがとうございました！

リーダーたちの胸の内……

【緑団団長 やまとさん】

挑戦して良かった。保育園時代、発表会で言葉が出なくて悔しい思いをした自分と向き合うことができた。その時のリベンジにもなった。団長という位置でいつもとは違う責任を感じながら運動会に参加した。楽しかった。

【白団団長 めいさん】

団長を経験できて良かった。一度も成功しなかったオリジナル技が本番で初めて全て成功した。団結し明るく元気な団でありたいという目標は達成できた。父にアイデアをもらい、勉強の合間も技や団の成功のことを考えていた。

【黄団団長 なつきさん】

桜花爛漫は一人でアイデアを練った。父に相談したり母に動画を撮ってもらったりしながら努力を重ねた。そして「みんなの優しさ・よさ」「やればできること」に気づくことができた。副団長や先生の支えにもすごく感謝の気持ちでいっぱい。

【赤団団長 しのさん】

最初は声が出せず、副団長にリードしてもらった。悔しい思いをしたときもあったが諦めずに声を出し続けた。結果発表までは優勝するとは思ってなくて頭が真っ白になった。気がついたら自然に涙が自分の頬を流れ落ちていた。

【青団団長 となさん】

自分が引っ張るのではなく、一人一人の思いが大切だと思う。一人でも欠けたらできないと思う。昨年は、運動会前日に大けがをし、運動会に参加できなかった。今年、全力で協力しながら頑張ることができてよかった。本当にみんな一人一人ががんばったと思う。

